

**大阪府教育委員会支援教育課・府教育センター支援教育研究室との懇談会**

平成 25 年 2 月 8 日（金）に、大阪府教育委員会・府教育センターとの懇談会が行われました。研究会の本部役員、支部長、行事部員の参加のもと、教育委員会から 6 名、府教育センターから 1 名参加していただき、「大阪府における支援教育の現状と課題」について懇談が進められました。

研究会による今年度の活動について報告した後、以下の 5 項目について教育委員会、府教育センターから説明していただきました。

**1. 小中学校における支援教育の充実について****◎特別支援学校教員免許法認定講習の状況について**

- ・支援学校教員の免許取得を今後必須としていく方向が示されているため、支援学校教員を優先的に受講決定している状況
- ・講習場所、日時については積極的に周知を図り、小中学校にも情報提供をすすめていく

**◎支援学級の種別設置について**

- ・児童・生徒の障がいの状況や教育的ニーズに応じた障がい種別による学級設置を行うことで児童・生徒の実態に応じた指導の充実を図っていく
- ・義務標準法に基づき、市町村が児童・生徒の実態を踏まえた学級編制を行っている

**2. 府立支援学校の教育環境整備について**

- ・「大阪の教育力」向上プランをもとに、府内 4 地域で知的障がい支援学校の新校整備を進めている
- ・うち 3 校には、就労を通じた社会自立をめざす「職業学科を設置する知的障がい高等支援学校」を併設
- ・平成 25 年 4 月開校の「摂津支援学校」「とりかい高等支援学校」は、ともに希望が多く、ニーズが高い

**3. 知的障がい生徒自立支援コース、共生推進教室での取り組みについて**

- ・クラス授業を基本とし、小集団、個別の授業を生徒一人ひとりの状況に応じて実施。将来の自立を見すえた授業を行っている。
- ・平成 24 年度から高等学校支援教育力充実事業として、自立支援推進校・共生推進校がこれまで培ったノウハウを府立高等学校に発信している。府下 4 校の支援教育サポート校が府立高等学校の相談等に応じている。
- ・卒業後の進路については、一般企業への就労をはじめ、専門学校、短大など多様である

**4. 府立支援学校における支援教育の充実について**

- ・平成 25 年度、3 つの職業学科を設置した「とりかい高等支援学校」を開校
- ・府立支援学校に職業コースの設置。各学校により地域の特色を取り入れたコース内容や実習体系を実施
- ・就労を見据えた教育、企業への積極的な働きかけにより、就職率が徐々に上昇

**5. 支援教育教職員研修の充実について**

- ・新任支援学級及び新任通級指導担当教員研修の受講者が年々増加。平成 25 年度は府教育センターでの講義だけでなく、市町村の協力を得て市町村の学校を会場とした研修の実施を計画している。
- ・年間を通して校種や経験、テーマ別など様々な研修を実施。平成 25 年度は、市町村別のテーマや実践例を考えた研修を加え、より課題に応じた研修の充実を図っていく。

3、4 の項目において、進学や就労の点で多くの質問や意見が出されました。障がいのある生徒の就労に向けて、教育環境の整備が多く求められている実情を伝えることができました。また今回の懇談会で、教育委員会や府教育センターでは支援学校の設置や、研修による教職員の専門性向上など、多くの事業に取り組んでおられること、その成果や現状を知ることができました。障がいのある子ども一人ひとりの自立をしっかりと支援できるように、教職員も思いを一つにして児童生徒の教育に努めていきたいと思いました。

大阪府支援教育研究会 行事部